

平成23年5月21日 『県政タウンミーティング』 主な発言要旨及び施策への反映状況調査票

集会での発言		参加者の発言に対する県の考え方	所管課
参加者発言内容	知事等発言内容	概 要	部・課名
【地域に向けた情報発信・地域連携について】			
<p>学校がもっと地域に開かれ、地域の人材をもっと学校に呼び込むことが必要。そのためには、学校から地域に向けて困っていることなどの情報を発信すること。 また、NPOや地域のコーディネーターなどをもっと活用して、地域と連携していくべきではないか。</p>		<p>○教育課題に対応するために、学校を開き、地域の人材を活用することが有効と考えております。本年度も、地域との懇談会や学校だよりなどを通じて、学校の情報を地域に発信し、地域の人材を一層活用して、学校の教育活動が充実するように進めてまいります。</p> <p>○「地域で支える学校サポート事業」(推進委員会、意見交換会、教員研修、学校訪問等)を実施する中で、ご意見の趣旨が反映されるよう努めます。</p>	<p>教育委員会事務局 教学指導課</p> <p>文化財・生涯学習課</p>
【教員の採用について】			
<p>教員には民間企業等の経験がある人材が必要。社会人枠を広げるなど、採用システムの見直しが必要ではないか。</p>		<p>○平成25年度の教員採用選考においても、民間企業等経験者を対象とした選考区分(採用予定者の1割程度)を設け、引き続き人物重視の選考を行う中で、ご意見の趣旨が反映されるよう努めます。</p>	<p>教育委員会事務局 義務教育課</p>
【多様化するニーズへの対応について】			
<p>学校以外の選択肢として、フリースクール等の認可制度に加え、資金や運営面でサポートするシステムを導入するべきではないか。</p>	<p><知事> ○学校とか教育の仕組みに子どもたちが合わせなければいけないのは、どう考えてもおかしい。我々が子どもたちに合わせていく努力をするべき。</p>	<p>○フリースクール等への直接の資金援助は、憲法(第89条)に抵触するためできません。民間施設との連携の方法については引き続き研究してまいります。</p>	<p>教育委員会事務局 教学指導課心の支援室</p>
<p>学校が忙しくて大変であるなら、たまには学校以外のコミュニティで授業を行ったらどうか。</p>		<p>○地域との関わりは、子どもの学習、成長にとって重要と受け止めています。「総合的な学習の時間」の学習等では、地域の方を外部講師として学んだり、地域に出かけて調査活動をしたりしている学校も多くあります。今後も地域との関わりや交流を大事にした教育活動を進めていきたいと考えています。</p>	<p>教育委員会事務局 教学指導課</p>
【特別支援教育について】			
<p>5歳児健診で発達障害の早期発見と早期に対応していくシステムが必要ではないか。</p>		<p>○1歳6カ月児や3歳児の健診や、保育所幼稚園等における早期発見の手法について県全体に普及を進めるとともに、養育の困難さを感じている家族が相談しやすくなるように社会全体に対する啓発の充実に努めたいと考えています。</p>	<p>健康福祉部 健康長寿課</p>